

第2回電気絶縁材料シンポジウム開催にあたって

電気材料技術委員会委員長

中 谷 宏

電気学会に調査研究を目的として設置された17の分野に区別される技術委員会のうちの1分野である電気材料技術委員会が主催して、昨年引き続き、本年も絶縁材料シンポジウムを開くことになりました。

今回のシンポジウムは、昨年のそれに参加された方々からの建設的意見を取り入れた内容にいたしました。すなわち、開催時期を秋としたこと、講演日数を2日とったこと、一般からの公募をしたこと、会場を広くとったことなどであります。また、高電界伝導から絶縁破壊へ、絶縁材料の使用限界、電気的負性ガス絶縁なる3主題を設定し、集中した討議が行なえるようにいたしました。さらに、電気材料技術委員会に設置された7専門委員会のうち、絶縁材料に関係ある誘電材料導電特性専門委員会（犬石嘉雄委員長）、絶縁材料トリーイング専門委員会（齋藤幸男委員長）、絶縁材料耐熱性試験法専門委員会（中島達二委員長）、絶縁材料コロナ劣化専門委員会（鳥山四男委員長）のこれまでの審議事項を整理して技術報告を行ない、これらの委員会の活動内容をお知らせする機会を作りました。なお、これに加えて特別講演も予定いたしました。

以上のようなわけで、今回は、前回にもました熱心なまた充実した討論が行なわれることと存じ、また、それを期待するものでありますが、このような企画は、次のような実行委員会の諸氏によって立てられました。

委員長：依田文吉（日立電線）、委員：伊東宇一（電 試）、家田正之（名 大）
金指元憲（電 試）、田中祀捷（電力中研）
中島達二（電 試）、西崎純夫（東 芝）
能登文敏（秋田大）、矢作吉之助（早 大）

このシンポジウムの目的については昨年のそれと同様であり、すてに、前材料技術委員会委員長 鳳教授が、前回のシンポジウムにおいて述べられているが、これを要約すると第一に問題点・研究成果などについての情報交換の場とすること、第二に十分な討論の場とすることです。なお、このシンポジウムを機会に、もう一つ、創造的意欲をかきたてる場としたいと存じます。

最後に、本シンポジウムの企画・運営に努力された依田実行委員長はじめ各実行委員の方、本シンポジウムに参加された座長、講演者の方々に厚く御礼申し上げるとともに、深甚なる敬意を表する次第であります。